

家族で花火を楽しんで ライオンズクラブ寄贈

鶴田ライオンズクラブ（秋庭隆貢会長）は8月7日（月）、家族で夏を楽しんでもらいたいと、鶴田町内7カ所の幼稚園・保育所に花火セット約400人分を寄贈しました。

寄贈は青少年健全育成活動の一環で、花火の寄贈は今回で4回目。つるた乳幼児園（福澤紀子園長）で行われた贈呈式では、園児らに秋庭会長から花火セットが手渡されました。

花火を受け取った園児たちは、合唱と「花火ありがとう。家族で楽しめます」と元気なお礼の言葉を秋庭会長らに送りました。



花火セットを受け取った喜ぶ園児たち



訪れた方々は戦没者の冥福を祈り平和を祈念していました

終戦から78年戦没者悼む

終戦から78年を迎えた8月15日（火）、町国際交流会館において、令和5年度鶴田町戦没者追悼献花が行われました。

会場には献花台が設けられ、訪れた31人が献花台に花を捧げ、先の大戦で犠牲となった戦没者457人の冥福を祈り、戦後78年が経過した今、悲惨な戦争の記憶を風化させることのないよう、恒久平和への願いを新たにしました。

第44回B&Gスポーツ大会

7月25日（火）、第44回B&Gスポーツ大会青森県大会が、鶴田町を会場に開催されました。水上の部（カヌー・ビッグサップ・OPヨット競技）はB&G海洋センター艇庫で、水泳競技はB&G海洋センタープールで行われました。結果は以下の通り（1位入賞のみ掲載）。

【水泳競技】メドレーリレー▷小学生男子200m 自由形▷小学生女子50m：佐藤なな、小学生男子50m：成田聖、中学生女子100m：安田光優、中学生男子100m：佐藤道 背泳ぎ▷小学生女子50m：佐藤なな、小学生男子50m：池野陽向、中学生男子50m：成田海翔 平泳ぎ▷小学生男子50m：池野陽向、中学生男子50m：成田海翔 バタフライ▷小学生男子50m：小山内鳳凰、中学生男子50m：佐藤道 フリーリレー▷小学生男子200m

【カヌー競技】小学生男子の部▷成田光成



【カヌー】一生懸命パドル漕ぎをして順位争いをする選手たち



Vol.57（筆：葛西あゆみ）

鶴田町に移住して早5ヶ月が経とうとしています。つるたスチューベン農家になるべく、お師匠さんに教を乞う日々です。しかし今年の夏は暑いですね、いったいこの暑さはいつまで続くのでしょうか、大阪から来た私もバテバテです。

さて畑では色づいてきたぶどうを狙う鳥や獣から守るために防鳥・防獣対策をしています。袋かけをしたり、防鳥網を設置したり、鳥が嫌がる色のきらきら光るテープをつけたり、バードキラー、ドンピカ、天敵ニラミビクラーというおどろおどろしいネーミングの爆音機を設置したりと、あの手この手で対策をしています。今年はこの天候の影響で収穫が早まるかもしれないとのこと。甘くておいしいスチューベンの収穫まであと少し！それを味わったらこの夏の暑さも吹き飛ばさるうなあと今から胸を躍らせています。



▲防鳥網を設置作業を行う葛西さん



Facebook



Instagram

地域おこし協力隊の活動内容は、各種SNSでも確認することができます。



花壇への植栽を行う会員たち

町団体が国土交通大臣表彰を受賞

国土交通省の「道路ふれあい月間」（8月）の関連行事として行っている道路功労者表彰で、鶴田町民で作る「相原町花壇推進委員会」が令和5年度の国土交通大臣表彰を受賞しました。

「道路ふれあい月間」は8月1日から31日までの1か月間、道路を利用している人々に改めて道路とふれあい、道路の役割を再認識してもらい、さらには、道路を常に美しく、安全に利用する気運を高めることを目的としています。

同会は約30年にわたって国道339号交差点の道路清掃や花壇への植栽、除草作業など環境美化に長年貢献してきたことを評価され、大臣表彰を受賞しました。

鶴の舞橋3年の改修工事始まる

町の観光名所「鶴の舞橋」の大規模改修工事が9月1日（金）に始まり、現地で安全祈願祭と記念セレモニーが行われました。

祈願祭には工事関係者や相川町長ら約30人が出席。宮司が工事の無事を祈念したあと参加者たちが順番に玉串を供え、工事の安全を祈願していました。

続いて行われたセレモニーでは、鶴田小学校の3年生の児童83人が改修工事の一部を体験しました。児童たちは「エイエイオー」のかけ声で手すりに結びつけられたロープを引っ張り、橋の手すり部分を取り外しました。また、子どもたちは改修工事前に工事の技法・工法を検証するために作られた、鶴の舞橋の実寸大模型にいち早く登り、普段見ることができない高さから鶴の舞橋を眺めていました。

橋の改修工事期間は、2026年春まで3工期に分けて行われ、23、24、25年のそれぞれ9月1日～3月末まで橋の通行止めが行われます。



改修工事の安全祈願祭の様子



実寸大模型に登って「鶴の舞橋」を眺める鶴小生



Vol.58 (筆：川口翔大)

先日、オンラインでの移住セミナーが開催されました。当日僕は、地域おこし協力隊としても移住者としても先輩の山田夫妻が運営する「芽実農園」から、現地中継のカメラマン役を任されました。山田夫妻には僕も移住した当初からお世話になっていて、地域に移住の先輩がいてとても助かった記憶があります。これから鶴田町への移住や就農を考えている方たちには、とても心強い先輩だと思います。

9月24日には東京で青森県主催の移住フェアがあるので、鶴田の魅力と住みやすい環境、心強い先輩移住者たちがいることを存分にPRしようと思います！



△芽実農園での山田夫妻と川口さん



Facebook



Twitter

地域おこし協力隊の活動内容は、各種SNSでも確認することができます。